

わが社の「熱中症対策」を聞く

2025年の改正労働安全衛生規則で、6月1日から「職場の熱中症対策」が事業者の義務となり、運送事業の荷役や炎天下の作業も対象となった。厚労省のガイドラインでは、暑さ指数WBGTを把握し、その値に応じた対策をとること、早期発見と報告体制の整備が重要視される。トラック運輸は、屋外作業を伴うことも多く、熱中症リスクが非常に高いことから、会社として対策を講じる労働環境の整備や仕組みづくりを行い、従業員を守ることが極めて重要となる。熱中症対策に対し、各社それぞれの対策が活かされている。

地域物流を止めない ロジテム九州 全社の対策強化

ロジテム九州(本社福岡市、永水浩司社長)は、福岡、佐賀、鹿児島、熊本を中心に、食品、農産物、日用品、輸送、EC輸送を主力とする地域物流を担う事業者。今年5月から、全営業所共通の熱中症対策を全面的に強化している。その最大の狙いは、熱中症予防を「単なる備品支給」で終わらせず、オンラインとオフラインを組み合わせた点にある。各営業所では、塩分補給用の「塩タブレット」「スポーツドリンク」「水分補給飲料」を常備し、担当者が在庫状況を確認しながら、行動を定期的に行う。現場に出る前から予防意識を高めることで、発症のリスクを低減している。また、現場での対策として、現場の暑さや湿度を把握し、必要に応じて作業の仕組や休憩場所を調整している。さらに、現場の暑さや湿度を把握し、必要に応じて作業の仕組や休憩場所を調整している。さらに、現場の暑さや湿度を把握し、必要に応じて作業の仕組や休憩場所を調整している。



自社マニュアルで予防



今年の飲料水配布の模様



予防を促す塩タブレット

夏用作業着など作業環境の見直し 丸加海陸運輸 水分・塩分の補給促す



常備したカリカリ梅

広島県福山市に本社を置く丸加海陸運輸(喜多村祐輔社長)は、一般のトラックから港湾運送、産廃、通関、倉庫、建設機械搬入付、クレーン搬入付、作業服、水分補給、塩分補給、休憩場所、作業環境の改善など、幅広い業務を担っている。今年5月から、全営業所共通の熱中症対策を全面的に強化している。その最大の狙いは、熱中症予防を「単なる備品支給」で終わらせず、オンラインとオフラインを組み合わせた点にある。各営業所では、塩分補給用の「塩タブレット」「スポーツドリンク」「水分補給飲料」を常備し、担当者が在庫状況を確認しながら、行動を定期的に行う。現場に出る前から予防意識を高めることで、発症のリスクを低減している。また、現場での対策として、現場の暑さや湿度を把握し、必要に応じて作業の仕組や休憩場所を調整している。さらに、現場の暑さや湿度を把握し、必要に応じて作業の仕組や休憩場所を調整している。



飲料水冷蔵庫、冷凍庫を設置

食で物流事業者を応援 LandBridge カロリー高め「ふとるめし」



物流事業者にアピールする三森社長

物流事業に従事する人々にとって、その日頃の食生活を支えることも、カロリー高め「ふとるめし」を提供する。LandBridge(本社埼玉県越谷市、三森一輝社長)が提供する宅配食「ふとるめし」は、高タンパク質でカロリーが高い。平均タンパク質は30g以上(必要な栄養を補給できる)とされている。また、アスリートに求められる「減量」をサポートする「ふとるめし」は、タンパク質と健康な脂肪を豊富に含む。また、アスリートに求められる「減量」をサポートする「ふとるめし」は、タンパク質と健康な脂肪を豊富に含む。



宅配食「ふとるめし」のイメージ写真



倉庫内の給水所の設置

猛暑に負けない倉庫 阪南倉庫 二重屋根など採用。大阪府堺市に本社を置く阪南倉庫(堀江浩重社長)は、倉庫の二重屋根を採用し、倉庫内の温度を下げ、従業員の健康を守る。また、倉庫内の温度を下げ、従業員の健康を守る。また、倉庫内の温度を下げ、従業員の健康を守る。また、倉庫内の温度を下げ、従業員の健康を守る。



作業環境に合わせた空調服の活用

武田式 運送原価計算システム 関東圏 2014年度版

再生産可能な運賃収受を実現するために 武田ロジスティクス研究所 編著

自社の標準的運賃を、『原価計算』で健全経営!!

日々の車両別損益を管理できる

武田式 運送原価計算システム 関東圏 2014年度版

再生産可能な運賃収受を実現するために 武田ロジスティクス研究所 編著

やさしく、便利な 「全国の運送事業者を支援する 原価管理ソフト」です。

CD-ROM 定価 9,800 円(税込み)

お申し込みは… <http://www.ryu-tsu.com> まで

発売元 新日本流通新聞社 〒162-0801 東京都新宿区山吹町335番地 増田ビル2階 ☎03-5206-2615